

第七十三回 帝國議會貴族院 商法中改正法律案特別委員小委員會議事速記錄第一號

昭和十三年二月五日(土曜日)午前十時三
十七分開會

○委員長(山岡萬之助君) ソレデハ小委員會ヲ開會致シマス、本日ハ第四章會社ノ管
理、第四十三條以下ヲ議題ト致シマシテ政
府ノ説明ヲ求メマス

○政府委員(大森洪太君) 第四十三條ハ取
締役ノ書類提出ノ義務規定デアリマシテ、
是ハ御承知ノ商法中改正法律案ノ第二百八
十一條ト全ク同趣旨デアリマス、次ニ第四
十四條デアリマスガ、是ハ利益配當ニ關ス
ル原則ヲ規定シタモノデアリマシテ、出資
ノ口數ニ應ジテ配當ヲスルト云フコトヲ明
カニ致シマシタ、是亦商法中改正法律案ノ
第二百九十三條ノ規定ト略、同様デアリマシ
テ、丁度株式ノ數ニ應ジテ配當ヲスルト云
フノト其ノ趣旨ヲ同ジクシテ居ルノデアリ
マス、但シ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除
クノ外ト云フコトヲ明カニ致シマシテ、定
款ニ其ノ割合ヲ自由ニ定メル途ヲ開イタ
ノデアリマス、御承知ノ通リニ、此ノ有限
會社ニハ優先株ト云フヤウナ種類ニ從ッテ
或利益ヲ得ルト云フヤウナ株式ハ認メナカッ
タノデアリマス、併シ個々ノ持分ニ付キマ

シテ之ヲ相當利益ニ配當スルト云フコトハ
定款デ之ヲ定メ得ル次第デアリマス、但シ
解釋ト致シマシテ、如何ニ定款ノ定ヲ以テ
致シマシテモ、利益配當ヲ全クヤラナイト
云フヤウナコトハ、是ハ會社ノ性質ニ反ス
ルモノデアラウト存ズルノデアリマス、第
四十五條ハ業務ノ執行ニ付キマシテ不正ノ
行爲ガアリマシタ場合又ハ法例若シクハ定
款ニ違及スル重大ナル事實アルコトヲ疑フ
ベキ事由ガアリマシタ場合ニ、少數社員ガ
裁判所ニ検査役ノ選任ヲ請求スルコトガ出
來ルト云フコトヲ明カニシタ規定デアリマ
シテ、商法中改正法律案ノ第二百九十四條
ト同様ノ趣旨デアリマス、此ノ商法中改正
法律案ノ末項ノ規定ヲ準用致シテ居リマス
ガ、ソレハ第二百八十一條第二項ト申シマス
ルノハ、検査役ガ検査ノ結果ヲ報告書ニ認
メマシテ、之ヲ總會ニ提出スルト云フ規定
デアリマス、ソレカラ第百八十四條第二項
ト申シマスルノハ、取締役、監査役ガ右ノ
報告書ヲ調査致シマシテ、之ニ付テノ意見
ヲ總會ニ提出スルト云フ規定デアリマス、
尙此ノ條文ニ付テ申述べテ置キマスルガ、
昨日申述ベマシタ少數社員權ニ付キマシテ

ハ、第三十一條第二項ノ規定ニ依リマシテ、
定款デ別段ノ定ヲスルコトヲ認メテ居ツタノ
シテ、常ニ少數社員ノ權利ヲ認メルト云フ
コトハ或ハ必ズシモ適當デナイデアリマ
セウカラ、定款デソレヲ認メナイ、或ハ認
メルト致シマシテモ、此ノ法律ノ規定ヨリ
モ強キ要件ヲ必要トスルト云フコトヲ定メ
得ル旨ヲ申述ベタノデアリマス、然ルニ此
ノ第四十五條ノ少數社員權ニ付テハ其ノ定
款ノ自由ヲ認メナイノデアリマス、蓋シ不
正ノ行爲ガアリ、若シクハ法令、定款ニ違
反スル重大ナル事實ガアルト云フコトヲ疑
ベキ事由ノアル場合デアリマスカラ、是
ハ左様ナ定款ノ自由ヲ認メナイ方ガ宜シカ
ラウト思ツタノデアリマス、即チ此ノ點ニ於
テハ商法中改正法律案ノ通リデアリマス
ソレカラ第四十六條デアリマスガ、是ハ御
備金ノ積立、其ノ準備金ノ使用ニ付テノ制
限、ソレカラ先程第二項デ申シマシタ會社
ノ使用者ノ會社ニ對スル債權ノ優先權、是
等ノ規定ヲ矢張リ有限會社ニ持ツテ來ルコト
ガ適當デアラウト存ジマシテ、右諸種ノ規
定ヲ準用シタ次第デアリマス
○委員長(山岡萬之助君) 此ノ際御質問ヲ

願ヒマス

○山隈康君 只今問題トナリマシタ事項ニ

ハ縁ガ遠イノデアリマスルケレドモ、關聯事項トシテ御許ヲ願ヒタイト思ヒマス、昨日本ノ政府委員ノ御説明デハ、有限會社ノ取締役モ株式會社ト同様ニ社員以外カラ選任スルコトガ出來ルト云フ御示シガアツタノデアリマス、株式會社ニ於キマシテモ株主以外カラ取締役ヲ選任ヲスルト云フコトハ、第七十議會ノ商法改正法律案ノ委員會デモ相當ニ論議サレタ次第デアリマス、併シ株式會社トシテハ強ヒテ反對スル程ノコトデモナカラウト云フコトデ、案ノ通リニ貴族院デハ通過シタ次第デアリマス、特殊會社ハ言フマデモナク資本ガ其ノ成立ノ要素ニナッテ居リマスガ、有限會社ニ對シマシテハ、政府委員ガ屢々御説明ニナッテ居リマスル如ク、人的要素、即チ社員ト云フモノガ、成立ノ最モ重要ナル事柄デアルト思フノデアリマス、ソレデ此ノ草案ニ依リマシテモ、社員ハ五十名以上ニ上ルコトヲ得スト云フヤウナ規定ノ如キ、又必ズシモ監査役ヲ置ク必要ノ無イト云フ點、更ニ重要ナル問題ニ對シテハ多數決デハイケナイ、總社員ノ同意ヲ要スルト云フヤウナ點、更ニ社債ノ公募ヲ禁ジマシタル點、其ノ他出資ノ未拂、

若シクハ不足額ニ對シテ總社員ガ連帶シテ支拂ノ責任ニ應ズルト、斯ウ云フコト及ビ其ノ他各條ニ散見致シマスル有限會社ノ性質ハ、最モ其ノ社員間ノ共同一致、社員間ノ總意、全社員一致ノ行動ニ依ッテ會社ノ業務ヲ執行スルト云フコトガ、株式會社ノ外ニ特ニ有限會社法ノ必要事項ト存ズルノデアリマス、殊ニ先般來御説明ノ如ク、實業家ヨリ此ノ種ノ法案ノ設定ヲ要求致シマシタノモ、蓋シ同族會社トカ、或ハ最モ親密ニシテ相許シタル人々ガ共同シテ、心力ラ共同シテ會社ノ盛リ立テラシヨウト、斯ウ云フ趣旨カラ出タモノト思フノデアリマス、更ニ株式會社ノ如キモノハ今後經濟界ノ段々發達スルニ伴レマシテ、幾億、幾十億ト云フ大會社ガ出來ルコトモ想像シ得ラレルノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ於テ株主中ノ者デハ此ノ大會社ヲ支配スルニ十分デナイト信ジマスル時、社外カラ、株主外カラ取締役ヲ持ッテ來ルト云フコトモ、是モ已ムヲ得ナイコトデアルト思フノデアリマスケレドモ、有限會社ノ如キモノハ社員モ少ク、從ツテ其ノ資本額モ何億ト云フ巨額ニ上ルト云フコトハ想像シ得ラレナイ、殊ニ立法者ニ於キマシテモ一萬圓ヲ下ルコトヲ得

有限會社資本額がサウ多大デアラウト云
ベキ、株式會社ノ以外ニ特ニ此ノ種ノ會社
ヲ設ケマシタ趣旨カラ致シマスレバ、其ノ
社員自ラ社員ノ中カラ取締役トナッテ、社務
ヲ燮理セシメルト云フコトガ、本質上當然
ノ事デハナイカト思フノデアリマス、或
ハ百ニ一ツ他カラ持ッテ來ルト云フヤウナ
場合ガアルカモ知レマセヌガ、ソレハ極メ
テ稀有ナ場合デアリマス、其ノ稀有ナ場合
ニ對シテ、有限會社ノ本質ニ稍々遠キ特殊ノ
規定ヲ設ケ、株式會社ノ規定ト同様ニ社員
外カラ取締役ヲ持ッテ來ルト云フヤウナ規
定ヲ設ケラレタ趣旨ヘ頗ル諒解ニ苦シム所
デアリマス、殊ニ私共ノ常ニ心配ヲ致シマ
スルノハ、斯ウ云フ會社ガ認可特許等ニ係
リマスル場合ニ於テ、其ノ官廳ガ或者ヲ取
締役ニセヨト云フ示唆ヲ致シマシテ、ソレ
ガ暗ニ其ノ示唆ヲ容レナケレバ其ノ會社ノ設
立ガ出來ナイト云フ場合、其ノ外種々ノ情況
ニ依リマシテ、他カラ取締役ヲ強要セラレ
ルト云フヤウナ危険モ全然ナイトハ保證シ
得ラレナイト思フノデアリマス、株式會社
ニ對シテモ相當ノ議論ガアツタノデアリマ
ス、株式會社ト性質ヲ異ニセル、特ニ株式

シテモ猶線外ノ人ヲ取締トスルト云フ必要
ヲ認メラレマシタ理由ヲ、一ツ諒解ノ行ク
ヤウニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス
○政府委員(大森洪太君) 御尤ノ御尋ト存
ズルノデアリマス、只今有限會社ノ特色ト
シテ御指摘ニナリマシタ點ハ私共悉ク御同
感デアリマス、尤モ有限會社ハ恐らくハ資
本額ハ比較的常ニ少ナイモノデアラウト云
フ御見込ノ點デアリマスガ、私共ハ將來此
ノ有限會社ノ發達上必ズシモ左様ニハ存ジ
マセヌケレドモ、其ノ他ノ御述ベニナリマ
シタ點ニ付テハ全ク私共ハ之ニ御同意ヲ申
上ゲル譯デアリマス、併シナガラ此ノ業務
執行ニ付キマシテ、取締役ヲ他カラ持ツテ來
テモ宜イデハナイカト云フ點ニ付キマシテ
ハ、私共ハ株式會社ト其ノ間ニ差等ノナイ
モノト存ジテ居ルノデアリマス、或ハ非常
ニ廣ク申シマシテ、他ヨリ取締役ヲ持ツテ來
ルコトノ必要ハ、株式會社ニ比シテ或ハ幾
分薄イノデハナイカト云フコトハ考ヘ得ラ
レルカモ知レマセヌケレドモ、又反對ニ矢
張リ先程御指摘ニナリマシタヤウナ同族會
社、斯様ナモノハ有限會社トシテ發達スル
最モ典型的ノモノグラウト思フノデアリマ
ス、例ヘテ申シマスルト、財產家ノ同族同

志デ極メテ親シイ縁故者ノミデ此ノ會社ヲ組織スル、併シ其ノ中ニハ餘リ業務執行ニ付テノ適材ガナイ、サウ云フ場合ニハ業務執行ニ付テノ適材ヲ他カラ持ツテ來ルト云フヤウナコトモ必ズシモ無クハナイト存ズルノデアリマス、而シテ此ノ取締役ガ必ズシモ社員タルコトヲ要シナイト申シマスルコトヘ、固ヨリ常ニ社員中ヨリ取締役ヲ持ツテ來イト云フ趣旨デハナイノデアリマシテ、會社ニ於テ他ヨリ之ヲ迎ヘルコトヲ適當トル場合ニハ、之ヲ迎ヘルダケデアリマスカラ、斯様ナ規定ニ致シテ居リマスコトハ何等弊害ガナイカニ存ズルノデアリマス、御承知ノ株式會社ニ付テモ種々論議ガアッタノデアリマスルガ、今日ノ實際ヲ見テ見マスルト、株主デナイ人ニ、其ノ人ニ株ヲ與ヘテ、サウシテ假ニ株主トシテ取締役ニナツテ貰フト云フヤウナ實例ハ決シテ少クナイノデアリマス、又左様ナ假裝株主ノ關係カラ生ジマスル弊害ガ多々アリマスコトヲ御承知デアリマセウ、左様ナ關係ハ矢張リ有限會社ニ付テモ同様ニ考ヘラレルノデアリマシテ、私共ハ矢張リ有限會社ニ付テモ此ノ點ハ株式會社ト同様ニ進ンデ行ッタ方ガ宜クハナイカト、斯様ニ存ジタ次第デアリマス、尙屢、申述ベマシタ通り、此ノ有

限會社ヲ是認シマスルコトニ付テハ實業界カラ強イ要望ガ屢、アリマシタ、斯様ナ關係デ、此ノ立案ニ從事致シマスル者ハ此ノ實業家ノ方面ノ方々ト屢、面談ヲ致シマシタシ、又其ノ意見モ聽キマシタ、又折衝致シタコトモアリマス、其ノ際ニ實業家ノ方面ノ意見ト致シマシテ、此ノ點ニ付テ株式會社ト同様ニスルコトヘ決シテ差支ガナイ、寧ロ其ノ方面ノ人達ガソレヲ望ムト云フヤウナコトデアリマシタ、詰リ斯様ニシテ實業家ノ方面ハ決シテ危惧ハ感ジナイノデアリマシテ、之ヲ利用スル場合ガ相當アルダラウト云フ意図デアリマシタ

○山隈康君 大體御説明ノ點ハ領承致シマシタ、唯私共ノ多額議員ガ約六十幾名、大體皆ソレヽ實業ニ從事シ、會社等ニ從事シテ居リマスルガ、全部ニハ反對ラシデ

○政府委員(大森洪太君) 但シ此ノ前申述シタ時ハ無論會社ハ成立シナイモノト解シテ宣シノデアリマスカ

○山隈康君 段々分カラナクナツテ來マシタガ、サウ致シマスト、只今ノ御説明ニ依レバ、必ズシモ全額ノ拂込、全額ノ給付ナクテモ若干ノ欠闕ガアツテモ、ソレハ十四條若シクハ十五條等ニ依ツテ救濟ガ出来ルカラ、登記ガ出來ル、サウ云フコトニナリマスレバ、此ノ欠闕ノ程度デハ登記ヲシテモ差支ガナイ、此ノ欠闕ノ程度ナレバ會社ガ成立シナイト云フコトハ、登記官吏ノ認定ニ委セルト云フ趣旨ト解シテ宣シノデアリマスカ

○政府委員(大森洪太君) 私ノ申上ゲ方ガ或ハ不十分デアリマシタガ爲ニ、意ヲ盡サ

ナカツ所ガアルヤウニ存ズルノデアリマス、登記官吏ト致シマシテハ、是等ガ完全ニ行ハレテ居ナケレバ設立ノ登記ハ致シマセヌ、唯登記官吏ガ見誤リマシタ場合、若シクハ

登記官吏ガ審査ヲ致シマシタ時分ニ、書類ニ基イテ之ヲ審査致シマシタ場合ニ、完全ハ起リマセウガ、全然ナイヤウナ場合ハ無ノ設立ノ登記ハ前條ノ拂込又ハ給付アリタル日ヨリ二週間内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス」、是ハ勿論十二條ノ出資全額ノ拂込、ソレカラ現物出資ノ目的タル財產全部ノ給付ヲ爲シタ後ト云フ意味デアリマスカ

○政府委員(大森洪太君) 御説ノ通リデアリマス

○政府委員(大森洪太君) 御説ノ通リデアリマス

デアリマシテモ、後ニソレガ漏レテ居タト云フコトヲ發見致シマシタ場合、是等ヲ指スノデアリマシテ、登記官吏ガ多少ノ漏ヲ默認致シテ登記ヲ受付ケルト云フコトハナイ積リデアリマス

○山隈康君 若シ登記官吏ガ多少デナク他ノ多クノ欠闕ノアル場合ニ登記ヲ受付ケマシタ時ハ、登記無効ノ訴ニ依ツテ救濟シ得ラレルト云フ御見解デアリマスカ

○政府委員(大森洪太君) 設立無効ノ訴ヲ提起スル餘地ハ固ヨリアルト存ズルノデアリマス

○山隈康君 更ニ是ヘ本日御缺席ニナッテ居ル小委員ノ方ヨリ代ツテ質疑ヲシテ欲シイト云フ點デアリマス、只今ノト關聯シタコトデアリマス、此ノ十二條ノ全額ノ拂込又ハ全部ノ給付ヲ爲サナイ時ハ會社ハ成立ニ支障ラ生ズル、此ノ場合ニ改正商法ノ第百七十九條即チ社員ヲ除籍スルトカ、他ノ社員ヲ變ヘルト云フ、斯ウ云フ方法ヲ講ジラレナカツタノヘドウ云フ譯カ、ソレハ結局此ノ十五條ノ規定ニ依ツテ取締役、監査役、社員ガ連帶シテ拂込ヲ爲シ給付未濟財產ノ價額ノ支拂ヲ爲スト云フ義務ガアルカラ、イト云フ規定ニ解釋スベキモノデセウカ

○政府委員(大森洪太君) 只今御述ベニナ成シナイト云フ建前デアリマシテ、從ツテ失權ニ關スル株式會社ノ規定ハ此處ヘ之ヲ持テ來ル必要ガナイト存ジタノデアリマス

○山隈康君 是ハ商法ノ改正法案ニ付テ御尋ネスルノガ相當ダト存ジマスルケレドモ、丁度此ノ四十六條ノ部デ商法ノ二百八十四條乃至二百八十六條ヲ準用シテアリマスルカラ、此ノ際御尋ネシテ置カウト存ジマス、有限會社ノ財產目錄ノ調製ニ對シマシテハイト云フ點デアリマス、只今ノト關聯シタ第五章ノ商業帳簿ノ第三十四條、此ノ規定ニ依ルベキコトハ疑ナインデアリマスカ

○政府委員(大森洪太君) 第三十四條ノ準用規定ニ律セラレルモノト存ジテ居リマス、ソマスノハ、二百八十五條、是ハ矢張リ之シマスノハ、二百八十五條、是ハ矢張リ之シマスノハ、二百八十五條ニ援用シテアリマスカラ、二百八十五條ニ依リマスト「財產目錄ニ記載スル營業用ノ固定財產ニ付テハ其ノ取得價額又ハ製作價額ヲ超ユル價額」、斯ウ云フ文句ガアリマス、三十四條ヲ適用スルコトニナリマスト、

○山隈康君 元來第五章ノ第三十四條ハ財產目錄ノ正確ヲ期スル、之ニ依ツテ正確ヲ期スルト云フ趣旨デアリマスガ、ソレガ爲ニ評價ノ利益ヲ作ツテ配當ラ大ニスルト云フヤウナ危険ガアリマスカラ、更ニ株式會社規定ヲ設ケラレタト云フノデアリマスガ、

○政府委員(大森洪太君) 只今御述ベニナ成シナケレバナラスト云フ規定ガアリマスカラ、此ノ二百八十五條ノ手前ノ規定ハ必要ガナクナルノミナラズ、此ノ規定ニ依リマスト、何ダカ減損價額ヲ引カヌデモ、取得價額又ハ製作價額ヲ超エナケレバ差支ナイト云フ風ニ解釋スベキ危險ガアルヤウニ思ヒマス、其ノ點ヲ……

○政府委員(大森洪太君) 商法中改正法律案ノ第二百八十五條ノ問題デアリマスガ、御會社ニ對スル特則デアリマシテ、從ツテ此ノ關係ニ於キマシテハ商法中改正法律案ノ第三十四條ノ規定ガ排斥ヲセラル、譯デアリマス、デアリマスカラ、第二百八十五條關係以外ニ付テハ三十四條ガ一般的ニ被ツテ參リマスケレドモ、第二百八十五條ニ關スリ得ルノデアリマス、又實際ニ於テハ左様ナ弊害モアツカト聞及シテ居リマス、デアリマスカラシテ、此ノ二百八十五條ニ於キマシテハ、其ノ前段ニ於テ其ノ制限ヲ加ヘマシテ、又取引所ノ相場ニアル有價證券ニ付テハ、其ノ評價ノ適正ヲ期スル爲ニ、此ノ後段ノヤウナ規定ヲ置イタ次第デアリマス、詰リ一般ニ第三十四條ノ通リデアリマスケレドモ、株式會社、有限會社、特ニ斯様ナ有限責任ヲ基礎トスル會社ニ付テ、此ノ基礎ノ確實ヲ期スルガ爲ニ、此ノ第二百八十五條ノ特則ヲ設ケタモノト御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○山隈康君 更ニ株式會社、有限會社ニ對シテハ、其ノ基礎ノ確實ヲ期スル爲ニ此ノ規定ヲ設ケラレタト云フノデアリマスガ、

基礎ノ確實ヲ期スルナラバ、第三十四條ノ

他ニ御發言モナイヤウデアリマスカラ、第

マス、何故斯様ニ重クシタカト申シマスル

譬へテ申シマスレバ、現物出資ニ關スル規

方ガ確實デハナイデセウカ、現ニ製作價額、買入價額ハ一萬圓デ、歲月ヲ經テソレ

五章定款ノ變更ヲ議題ニ供シマシテ、政府ノ説明ヲ求メマス

ト、矢張り是亦有限會社ノ特質ニ順應スルモノデアリマシテ、社員相互間ノ信賴ニ非

定デアリマス、現物出資ニ關スル規定ハ所

ガ千圓、二千圓ニズット減損シタト云フ場合
ニ於テ、矢張リ取得價額、製作價額ヲ財産
目錄ニ表スト云フコトハ、寧ロ會社ノ基礎
ヲ弱ウシテ、財產上會社ニハ有力ナル財產
ガアルト云フコトヲ誤解セシメル虞アリト
疑フノデスガ……

○政府委員(大森洪太君) 第五章ハ定款ノ
變更ニ付テノ規定ヲ網羅シタモノデアリマ
ス、第四十七條ハ定款ノ變更ヲ致シマスル
ノニハ社員總會ノ決議ヲ必要トスルト云フ
コトヲ明カニ致シタノデアリマシテ、株式會
社ガ矢張リ定款ノ變更ニ株式總會ノ決議ヲ

常ニ重キヲ置イテ居リマスルカラ、是ハソレヲ普通ノ株式會社ニ比シテ重クシタ方ガ適當デアラウト存ジタ次第アリマス、第二項ハ議決權ヲ行使スルコトヲ得ザル社員ノ數ヲ總社員ノ數ニ算入シナイ、又其ノ行使スルコトヲ得ザル議決權ヲ議決權ノ數ニ

○政府委員(大森洪太君) 意見ニ亘ルヤウ
デアリマシテ、甚ダ恐縮デアリマスケレド
モ、先程モ申シマス通リニ評價利益ヲ大ニ
スルト云フ危險ヲ株式會社、有限會社ニ於
テハ特ニ之ヲ慮ル必要ガアル、斯様ニ存ジ
タ次第デアリマス

必要トスルト云フノト同趣旨デアリマス、而シテ其ノ決議ノ要件ニ付キマシテハ、次條、即チ第四十八條ニ規定ヲ致シテ居ルノデアリマス、第四十八條ハ定款變更ニ關スル社員總會ノ決議ノ要件ヲ規定シタモノデアリマシテ、是ガ即チ所謂特別決議、

算入シナイト斯ウ云フ規定デアリマシテ、
是ハ商法中改正法律案第三百四十四條第三
項ト全ク同趣旨デアリマス、而シテ此ノ有
限會社ニ於キマシテハ、議決權ヲ行使スル
コトヲ得ザル者ハ、株式會社ノ如ク、議決
權ヲ認メナイ所ノ特殊ノ株式ヲ認メマセヌ

○山隈康君 能ク私ノ質問ニ對スル御答辯
トシテハ了解ニ苦シムノデスガ、是以上ハ
議論ニ互リマスカラ此ノ程度デ止メテ置キ
マス

即チ重イ方ノ決議要件デアリマス、ソレニ依リマスルト、第一項デ總社員ノ半數以上デアッテ總社員ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ有スルモノノ司意ヲ必要トスルコトニナッテ

デシタカラ、決議事項ニ付テ特別ノ利害關係ヲ有スル者ト、ソレカラ會社ガ或場合ニ自己ノ持分ヲ取得スルコトヲ許サレマスガ、自己持分ニ付テハ義夫蘿ヲ行使スレコトガ

○岩田宙造君 速記ハ要ラナイノデス
ガ……
テ……
○委員長(山岡萬之助君) 速記ヲ止メ

居リマス、是デ御承知ノ通りニ商法中改正
法律案ノ株式會社ノ特別決議ノ要件ヨリモ
重キコトニナシテ居ルノデアリマス、株式會
社ノ方デハ頭數デモ半分以上、又持株デモ

出來マセヌ、此ノ二ツノ場合ダケデアリマス、次ニ第四十九條デアリマスルガ、是ヘ御承知ノ商法中改正法律案第三百四十八條第二號乃至第四號ト同様デアリマシテ、是

○委員長(山岡萬之助君) ソレデハ速記ヲ
始メテ……ソレデハ此ノ會社ノ管理ノ點ハ

マスルガ、此ノ有限會社デハ議決權ノ四分
ノ三以上ト云フコトニナツテ居ルノデアリ

合デモ、資本増加ノ決議デ之ヲ定メテ宜シ
イト云フコトヲ明カニシタノデアリマス、

〔速記中止〕

第四部第三類附屬 商法中改正法律案特別委員小委員會議事速記錄第二號

デアリマス、第五十一條デアリマスルガ、是ハ社員ハ資本増加ノ場合ニ、其ノ持分ニ
應ジマシテ、出資ノ引受ノ權利ヲ有スルコトヲ明カニ致シタノデアリマス、是ハ社員
ガ出資引受權ガアルト云フコトヲ定メタノ
デアリマシテ、決シテ社員ニ出資引受ノ義務ヲ強制シタモノデハナイノデアリマス、
尤モ此ノ出資引受權ニ付キマシテモ、決議
デ別段ノ定メラナシマシタ時ニハ、ソレハ
其ノ別段ノ定メニ從フコトニナツテ居リマ
ス、尙只今申述べマシタ通リニ、社員ハ出
資引受權ヲ認メラレテ居リマスルガ、其ノ
趣旨ハ成ルベク此ノ社員ニ重キヲ置キマス
ル關係上、他ノ者ヲ混ヘズニ、社員同志ノ
間ニ資本ヲ殖ヤシテ行カウトスル趣旨カラ
來タノデアリマス、併シ出資引受ノ義務ヲ
強制シタノデナイトハ只今申述べタ通り
デアリマシテ、外國法ニ認メテ居リマスル
ヤウナ、所謂追加出資ト云フヤウナコトハ、
此ノ案デハ是認ヲ致サナカツタノデアリマ
ス、御承知ノ、外國法ニ依リマシテハ、最
初ハ資本金ヲ百萬圓ト致シテ置キマシテ、
其ノ後追加出資ヲナスコトアルベシ、此ノ
追加出資ヲスルノニハ、社員ハ必ズ出資ヲ
持タナケレバナラナイ、斯ウ云フコトニナツ

モ、是ハ資本ノ増加ト云フコトガ、許サレテ居ルノデアリマスルカラ、必ズシモ追加出資ト云フヤウナモノヲ認メル必要ガナイデアラウ、若シ追加出資ト云フモノヲ廣く認メルトスルナラバ、全額拂込ト云フ趣旨ニモ悖ル虞ガアルト云フヤウナ懸念カラ致シマシテ、ソレハ認メナカッタ次第デアリマス、第五十二條ハ、是ハ出資ノ引受ノ方式ヲ定メタモノデアリマシテ、出資ノ引受ヲ明カニセシムル爲ニ書面ニ依ルコトニ致シタノデアリマシテ、ソレハ第一項ノ規定デアリマス、第二項ノ規定ハ、有限會社ノ特質ニ矢張リ副フモノデアリマシテ、有限會社ハ、廣告其ノ他ノ方法ニ依リマシテ、引受人ヲ公募スルコトヲ許サレナインデアリマス、是ハ矢張リ先程モ申シマシタ通リニ、社員同志ノ間デ、出資ヲ引受ケルカ、サモナケレバ他ノ緣故者ヲシテ出資ノ引受ケラナサシメルノガ適當デアッテ、廣ク之ヲ公ニ募ツテ、少シモ關係ノナイ、緣故ノナイ者ヲ迎ヘルト云フコトハ有限會社ノ性質ニ適應シナイモノト考ヘタノデアリマス、第五十三條デアリマシテ、商法中改正法律案ノ第三項デアリマスルガ、是ハ資本増加ノ登記事項デアリマシテ、商法中改正法律案ノ第三百五十七條ト其趣旨ヲ同ジクスルモノデアリマス、但シ株式會社ノ資本増加ノ場合ニ

比シマシテ其ノ登記事項が甚ダ簡単ニナツ
テ居リマス、ソレハ御承知ノ通リニ株式會
社デハ分割拂込ト云フコトモ認メマスルシ、
又優先株、或ハ後配株其ノ他ノ異種類ノ株
式ヲモ認メテ居リマスルガ、左様ナモノハ
此ノ有限會社デハ許シマセヌカラシテ、
自然此ノ登記事項ハ簡單ニ濟ム譯デアリ
マス、第五十四條ハ設立ノ際ノ第十四條
ニ付テ申述ベタト全ク其ノ趣旨ヲ同ジク
スルノデアリマス、即チ資本増加ノ場合
ニ於テ現物出資、財產引受等ニ付テ、之
ニ付ケマシタ所ノ價格ガ、實價ヨリモ非
常ニ高クナッテ居ル、詰リ實價ノ方ガ著シ
ク不足シテ居ツタト云フ場合ニ、決議ニ同意
シタ所ノ社員ハ、會社ニ對シテ連帶シテ其
ノ不足額ヲ填補スル義務ヲ負フト云フコト
ヲ明カニ致シタノデアリマス、第五十五條
ハ矢張リ設立ノ場合ノ第十五條ニ付テ申述
ベタト全ク同趣旨デアリマシテ、引受ノナ
イ出資又ハ拂込、若シクハ現物出資ノ財產
ノ給付ノ未濟ノモノガアリマシタナラバ、
取締役、監査役ハ其ノ引受ヲシナケレバナ
ラナイシ、又未濟部分ノ拂込、又未濟部分ノ
財產ノ價額ノ支拂ヲシナケレバナラナイト
云フコトヲ明カニ致シタノデアリマス、此
ノ第五十四條、第五十五條ハ、第十四條第

十五條ト同ジク、其ノ基礎ヲ確實ニスル爲ニ之ヲ必要トシタモノデアルコトハ申ス迄モナイノデアリマス、又此ノ會社ノ資本増加ノ手續ガ株式會社ニ比シマシテ比較的容易デアリマスカラ、一面法律ガ其ノ點ニ寛大ニナツテ居リマスルガ、他面此ノ確實ヲ期スル爲ニ斯様ナ規定デ臨ム必要ガアリト信ジタカラデアリマス、第五十六條ハ、設立ノ際ノ第十四條第十五條ニ次イデ第十六條ト云規定ヲ設ケマシテ、是等ノ義務ハ五年後デナケレバ免除スルコトガ出來ナイト云フコトヲ明カニ致シマシテ其ノ義務ノ確保ヲ圖ツタノデアリマスガ、第五十六條モソレト同一ニショウト云フ趣旨デアリマス、第五十七條ハ種々ノ規定ヲ準用シテ居ルノデアリマスガ、其ノ中デ第十二條ハ設立ノ場合ニ於ケル出資ノ拂込ニ關スル規定デアリマス、第四十條第三項ハ事後設立ニ付テハ特別決議ヲ必要トスルト云フ規定デアリマス、之ヲ矢張リ資本増加ノ場合ニモ準用致シマシタ、ソレカラ準用ニ係ル商法中改正法律案ノ規定ハ、引受人ノ方カラ此ノ拂込ニ付テ相殺ヲスルコトヲ禁止スルト云フ規定、又利益配當ニ付キマシテ引受人ノ権利ヲ規定致シマシタ、ソレハ御承知ノ通りニ此ノ資本増加ハ登記ニ依ツテ成立スルノ

デアリマスカラ、引受ガ確定致シマシテモ

マダ增资ニハナラナイノデアリマス、併シ

ナガラ引受ガ確定致シマスレバ、其ノ時カラ

矢張リ此ノ引受人ニ對シテソレダケノ利益

配當ヲヤッテ宜イノデアリマスカラ、其ノ點

ヲ商法中改正法律案ニ明カニ致シマシ

タ、其ノ規定ヲモ準用スルノデアリマス、

ソレカラ資本増加ノ效力ノ發生期間、即チ

其ノ登記ニ依ツテ資本増加ニナルト云フ規

定、ソレカラ資本増加ノ無效ノ訴ニ關スル

商法中改正法律案ノ諸種ノ規定、是等ヲ矢

張リ有限會社ニ準用シタモノデアリマス、

第五十八條ハ矢張リ商法中改正法律案ノ規

定ヲ準用シタモノデアリマスガ、是ハ株式

會社ノ資本減少ニ關スル規定デアリマシテ、

資本減少ノ方法ヲ何時決定スベキデアルカ、

財產目錄、貸借對照表ノ作成ニ付テ、又債

權者ヲ保護スル手續ニ付テ、又併合ニ適セ

ザル株式ノ處置ニ付テ、又資本減少ノ無效

ノ訴ニ付テ、是等ノ規定ヲ總テ有限會社ヲ

持ツテ來タノデアリマシテ、蓋シ是等ニ付テ

株式會社ト同様ニ律スルノ趣旨デアリマ

スガ、重要ナ事デアリマスカラ、二點ダケ

御尋ネシタイト思ヒマス、サツキノ二百八十

五條ノ營業用ノ固定資產ニ對シテハ時價ヲ

超ユルコトヲ得ズト云フ制限ガアルト云フ

御話デアリマシタガ、法文ノ何處ニソレガ

記載シテアリマセウカ、唯取引所ノ相場ア

ル有價證券ニ付テハ時價デ記載シナケレバ

ナラスト云フコトデアリマスガ、其ノ他ノ

固定財產ニ付テハ時價ヲ超エルコトヲ得ズ

ト云フコトハ私ドッカ見落シタノダラウト

思ヒマスガ……

○政府委員(大森洪太君) 商法中改正法律

案ノ第二百八十五條デハ營業用ノ固定財產

ニ付テハ其ノ取得價額又ハ製作價額ヲ超エ

ル價額ヲ付ケテハイケナイ、斯ウ云フ趣旨

デアリマシテ、時價ヲ超エテハイケナイト

云フコトハ書イテナイノデアリマス

○山隈康君 先程ドウモ時價ヲ超エテ居ナ

イカラ三十四條ヨリモ却テ其ノ方ガ正確デ

ナイカト云フ御話ガアツカカラ伺ッタノデア

リマス、尙モウ一點伺ヒタイト思ヒマス、

三十四條ノ減損額ト云フモノハソレハ品物

ガ壞レタ爲ニ生ズル損失ト並ニ時價ガ段々

安クナレバソレモ即チ減損額ニ加フベキモ

ノナリト解シマスカ、時價ガ非常ニ下落ス

レバ、ソレモ減損額ト見ルベキデアリマス

カ

○委員長(山岡萬之助君) 速記ヲ止メ

テ……

(速記中止)

○委員長(山岡萬之助君) 速記ヲ始メ

テ……

○政府委員(大森洪太君) 只今御尋ノ第三

十四條第二項ノ相當ノ減損額ノ趣旨デアリ

マスガ、是ハ其ノ物自身ノ毀損デアリマス

トカ、償却デアリマストカ左様ナ價値ノ減

損ヲ申シタノアデリマシテ、相場ノ下落ヲ

含マナイ積リデ解釋致シテ居ルノデアリマ

ス

○山隈康君 五十條ニ付テ御伺ヒ致シマ

ス、是ハ私マダズット草案ヲ全部拜見シテ

居リマセヌガ、其ノ爲ニ分明致シマセヌガ、

社員デナイ者ガ資本増加ノ出資ヲ引受ケマ

シタ者ハ、是ハ矢張リ引受ケテ出資ヲシテ

モ社員トナラズシテ、單ナル特殊ノ出資者

ト解スベキモノデアリマセウカ

○政府委員(大森洪太君) 出資ヲ引受ケマ

スレバ社員ニナル積デアリマス

○山隈康君 株式會社ニモ同様ナ規定ガア

リマスガ、實際ハ斯ウ云フ規定ノ資本增加

ノ場合ニ株式ニハ應募シ、此ノ場合ニハ出

資ヲ引受ケテ宜シイデスガ、豫メ斯ウ云フ

手續ヲ經テ特別決議ヲ經テ契約ヲセネバナ

ラスト云フ實際上ノ必要ガアルノデセウカ

其ノ點ヲ……

○政府委員(大森洪太君) 違ニ實際上ノ必

要ガ大イニ殖エルトハ考ヘマセヌケレドモ、

現行法ノ下ニ於テハ御承知ノ通リニ此ノ規

定ガナイモノデアリマスカラ、固ヨリ左様

ナ運用ハ出來ナイノデアリマス、併シ斯様

ナ規定ヲ置イテオキマスナラバ、其ノ規定

ノ實施ノ曉ニハ多少ノ便利ハアリハシナイ

カト思フノデアリマス、將來ノ事デアリマ

スルカラ能クハ分リマセヌケレドモ、相當

ノ效果ハアリヤシナイカト思フノデアリマ

ス、殊ニ有限會社デアリマスナラバ、ソレ

ハ豫メ決メテ置クト云フヤウナコトモ餘程

工合ノ良イ場合ガアリハシナイカ、斯様ニ

考ヘテ居リマス

○山隈康君 特ニ商法改正ノ案ニモ同様ナ

條項ガアリマス、何カ是ハ實業家其ノ他ヨ

リ斯ウ云フコトノ條項ヲ設ケルト云フコト

ガ實際ノ會社ノ増資其他ノ場合ニ於テ極

メテ必要デアル、是ナカリシ爲ニ非常ナ不

便ヲ感ズルト云フヤウナ意見デモアッタ

デアリマセウカ

○政府委員(大森洪太君) 矢張リ實業家方

面カラ此ノ規定ヲ置クト云フコトノ要望ハ

アツタノデアリマス、併シ是ナカリシ爲ニ過去

ニ於テ如何ナル不便ガアツカト云フコトハ

或ハ陳述ガアツカモ知レマセヌガ、只今記

憶致シテ居リマセヌノデアリマス

○委員長(山岡萬之助君) 他ニ御發言ゴザ

イマセヌケレバ、第六章合併及組織ヲ議題
ト致シマス、政府ノ説明ヲ求メマス

○政府委員(大森洪太君) 第六章ハ合併ト
組織變更ニ付テ規定ヲ致シタノデアリマス

ガ、合併ニ付キマシテハ、有限會社ガ他ノ
有限會社ト合併ヲシテ、有限會社ガ残り、
又ハ有限會社ガ設立セラル、ト云フ一つノ
場合ヲ認メタノデアリマス、又有限會社ト
株式會社トノ合併ガ出來ルト云フコトモ認
メマシテ、此ノ場合ニハ残リ又ハ設立セラ
ル、會社ハ有限會社ナルコトアリ、又株式
會社ナルコトガアルノデアリマス、併シ其
ノ他ノ場合ノ合併ハ之ヲ認メナカッタノデ
アリマス、例へテ申シマスレバ、有限會社
ト合名會社トノ場合、斯様ナモノハ認メ
ナカッタノデアリマス、又有限會社ト有限
會社トガ合併ヲシテ、株式會社ヲ造ルト云フ
ヤウナコトモ認メナカッタノデアリマス、詰
リソレ等ノモノハ不必要デアリ、錯雜デア
リマスルカラ、寧ロ差控ヘルガ適當デハナ
イト思ツタノデアリマス、併シナガラ將來
此ノ有限會社ガ非常ニ發達ヲ致シマシテ、
其ノ結果ト致シマシテ、或ハ有限會社ト有
限會社トガ合併シテ、株式會社ヲ造ルト云
モ、今日新タニ有限會社ガ出來マシタ此ノ際
ニ於キマシテハ、少クトモ左様ナ所マデ手
ヲ著ケル必要ハナイ、寧ロ煩雜ヲ避ケテ、
先程申述ベタ程度ニ止メルガ適當デアルト、
斯様ニ存ジタ次第デアリマス、又組織變更
ハ、有限會社ガ組織ヲ變更シテ株式會社ニ
ナリ得ルト云フコトト、其ノ反對ニ株式會
社ガ組織ヲ變更シテ有限會社ニナリ得ルコ
ト、是ダケヲ認メタノデアリマス、有限會
社ガ株式會社以外ノ會社ニ組織ヲ變更スル
ト云フ必要ハ、是ハナイモノト存ジタノデ
アリマス、第五十九條デアリマスルガ、是
ト云フコトヲ明カニ致シマシテ、此ノ場合
ニハ、合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リ
テ設立スル會社ハ有限會社ニ限ルノデアリ
マス、即チ有限會社ト有限會社トガ合併シ
テ、株式會社ヲ造ルト云フヤウナコトハ認メ
メナカッタノデアリマス、況シヤ固ヨリ有限
會社ト有限會社トガ合併シテ、合名會社、
合資會社ヲ造ルト云フヤウナコトハ認メナ
イノデアリマス、第一項ニ只今申述ベタ趣
旨ヲ明カニ致シマシテ、第二項ハ此ノ合併
ニ付テハ特別決議ヲ必要トスルト云フコト
ニ明カニ致シマシタ、第三項、第四項ハ御

フヤウナ必要ヲ生ズルカモ知レマセヌケレド
モ、當事者タル會社ニ於キマシテハ、定款ノ作
成其フ他設立ニ關スル行爲、各會社デ選任

シタ設立委員ガ共同シテ之ヲヤラナケレバ
ナラヌ、又其ノ選任ハ特別決議ヲ必要トス
ルト云フコトヲ明カニ致シタモノデアリマ

ス、第六十條ハ有限會社ト株式會社トノ合
併ノ規定デアリマス、有限會社ト株式會社
トガ合併ガ出來ルノデアリマシテ、其ノ結
果有限會社ガ存續會社トナリ、新設會社ト
ナリ得ルコトモアリマス、又株式會社ガ存
續會社トナリ、新設會社トナリ得ルコトモ
アルノデアリマス、サウシテ此ノ有限會社ト
株式會社トノ合併デアリマスルガ、有限會
會社ニ付キマシテハ、其ノ手續方法ハ前條
ニ申シマシタ即チ第二項乃至第四項ト同ジ
方法ヲ執ルベキモノデアリマシテ、此ノ事
ヲ本條ノ末項ニ規定ヲ致シテ置キマシタ、
即チ有限會社ガ株式會社ト合併ヲ致シマス
ル場合デモ、有限會社ニ關スル手續トシテ
ハ、有限會社ガ有限會社ト合併スル手續ト
同様ニスベキデアルト云フ趣旨デアリマス、
次ニ第二項デアリマスルガ、有限會社ト株
式會社トガ合併致シマシテ、其ノ結果合併

承知ノ商法中改正法律案ノ會社ノ總則ニア
ル規定ト同趣旨デアリマシテ、合併ヲスル
ル規定期限ナラバ、其ノ合併ハ裁判所ノ

認可ヲ受ケナケレバ效力ヲ生ジナイト云フ
ニモ申述ベタノデアリマスルガ、株式會社

ノ設立ハ、法律ガ比較的嚴重ナル規定ヲ以
テニ臨ンデ居ルノデアリマス、然ルニ有
限會社ノ設立ハ、之ニ比べマスルト、非常

ニ簡易單純デアリマス、從ツテ若シ此ノ合併
ニ付キマシテ、之ヲ非常ニ簡單ニ致シテ置

キマスルナラバ、株式會社ノ設立ノ規定ヲ
潜脱致シマスル爲ニ先づ有限會社ヲ造ツテ、他

ノ株式會社ト合併ヲスル、サウシテ實質ニ於テ
シカラザルコトデアリマスカラ、斯様ナ場合ニ
於テ、即チ有限會社ト株式會社ト合併シテ、殘

ル會社又ハ新設セラル、會社ガ株式會社デ
アリマスル場合ニハ、裁判所ノ認可ヲ受ケルコト
ヲ要スルモノト致シマシタ、是ハ第二項デア

リマス、尙前後シテ甚ダ恐縮デアリマスルガ、
リマス、有限會社ト合併ヲ致シマスル場

合ニ、有限會社ニ付テハ、有限會社同士ノ
合併ト同様ノ手續ヲ經ベキモノデアルト云
フコトハ末項デ規定シタノデアリマシテ、是

ハ既ニ申述ベマシタ、然ルニ株式會社ノ方
ニ因ツテ存續スル會社、合併後存續スル會社、
又ハ合併ニ因リテ設立スル會社ガ株式會社
デアリマスルナラバ、其ノ合併ハ裁判所ノ
認可ヲ受ケナケレバ效力ヲ生ジナイト云フ
ニモ申述ベタノデアリマスルガ、株式會社

ニ付キマシテハ、是ハ株式會社ニ御承知ノ通リニ詳細ナル合併ノ規定ガアルノデアリマス、即チ商法中改正法律案ニ其ノ規定ガアルノデアリマス、デアリマスルカラ、株式會社ニ付テハ其ノ規定ニ從フノガ適當但書ニ明カニ致シマンタ、合併ニ因ツテ株式會社ガ設立セラル、場合モ亦同様デアリマス、次ニ有限會社ガ株式會社ト合併ヲナンマスル場合ニ、此ノ一方ノ株式會社ガ社債ヲ募集シテ居リマシテ、未ダ其ノ償還ヲ完了シテ居ナイ場合デアツタト假定致シマス、其ノ場合ニハ合併後存續スル會社又ハ合併ニ因ツテ設立スル會社ハ、必ズ株式會社デナケレバナラナイト云フコトヲ第三項デ明カニ致シマシタ、ソレハ此ノ前ニモ申述ベタ所デアリマスルガ、有限會社ニ付テハ社債ニ關スル規定ヲ設ケマセヌデシタ、從ツテ社債ニ關スル詳細ナ規定ハ株式會社特有ノモノニナツテ居リマスルカラ、此ノ株式會社ガ社債ノ償還ヲ完了シナイ、マダ社債ヲ持ツテ居ルト云フ間ハ、株式會社トシテ商法ノ規定ニ從ツテ社債ヲ償還スベキデアル、從ツテ云フ趣旨ヲ此ノ規定デ設ケタ次第デアリマス、第六十一條デアリマスルガ、是ハ有

限會社ト株式會社トガ合併ヲ致シマシテ、
合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立
スル會社ガ有限會社デアリマスル場合ニ、
リマシタ場合ニハ、其ノ質權ガ設定サレテ居
ナリマシタ有限會社ノ持分ニ乘リ移ルト云
フコトヲ明カニ致シタノデアリマス、是ハ
本條第一項ノ規定デアリマス、即チ合併ノ
結果、株式ニ對シテ持ツテ居リマシタ質權
ガ無クナリマシテハ大變デアリマスカラ、
之ヲ持分ニ乗リ移サセル、是ハ蓋シ當然ノ
コトデアラウト思フノデアリマス、第二項
ハ其ノ質權ノ對抗要件デアリマシテ、社債
名簿ニソレヲ記載シロト云フコトヲ明カニ
致シマシタ、第六十二條ハ有限會社ガ合併
ヲ致シマシタ場合ノ登記ノ規定デアリマス、
是ハ矢張リ商法中改正法律案ノ株式會社ニ
關スル規定ト略、其ノ趣旨ガ同様デアリマ
シテ、有限會社合併ノ場合ニ於キマシテ、
ソレガ吸收合併デアリマスルナラバ、存續
會社ノ報告總會、又設立合併デアリマスル
ナラバ、新設會社ノ創立總會、是等ノ終結
終結ノ日ヲ起算ト致シマシテ、本店ノ所在
地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ
三週間、合併後存續スル有限會社ニ付テハ
變更ノ登記ヲ致シマスルシ、合併ニ因リテ

シマス、又合併ニ因リテ新設サレマシタ有限會社ニ付テハ丁度設立ニ關スル登記事項ト同様ノ登記事項ヲ登記スルノデアリマス、第六十三條ハ矢張リ準用ノ規定デアリマシテ、合併ニ付テ必要ナル規定ヲ商法中改正法律案カラ持ッテ來タノデアリマス、其ノ二項ハ解散後ノ會社ノ合併ノ制限、即チ解散後ノ會社ハ他ノ會社ニ吸收セラレル場合ダケニ合併ガ認メラレルト云フ點ノ規定デアリマス、又合併ニ付テ債權者保護ノ手續ガ規定サレテ居リマスルガ、其ノ規定、ソレカラ合併ノ效力、即チ登記ニ依ッテ效力ヲ生ズルト云フ規定、合併無効ノ訴、端株ノ措置、合併契約書、ソレカラ吸收合併ニ於ケル存續會社ノ報告總會、新設合併ニ於テ新設會社ノ創立總會、是等ノ規定ハ總テ有限會社ニ持ッテ來ルノガ適當デアラウト存ジタノデアリマス、以上デ合併ニ關スル規定ガ終リマシテ、第六十四條カラハ組織變更ノ規定ニ入ルノデアリマス、第一項ハ株式會社ハ總株主ノ一致ニ依ル總會ノ決議デ以テ其ノ組織ヲ變更シテ、有限會社トスルコトガ出來ルト云フコトガ明カニサレタノデアリマス

ス、即チ株式會社ガ組織變更ラシテ、有限會社トナリ得ルノデアリマスルケレドモ、是ハ極メテ重大ナ問題デアリマスルカラ、ナイコトニ致シテアルノデアリマス、併シ先程申シマシタ通りニ有限公司ニ付キマシテハ社債ノ規定ガナイノデアリマスルカラ、社債償還ヲ完了シナイ場合ニハ有限公司ニハナリ得ナイノデアリマス、丁度其ノ趣旨ハ第六十條ノ第三項ト全ク同様デアリマス、ソレカラ此ノ組織變更ノ場合ニ於テハ、會社ニ現存シマスル純財產額ヨリモ多イ金額ヲ資本ノ總額トシテハイケナイト云フコトヲ第二項デ明カニ致シマシタ、即チ株式會社ガ有限公司ニナリマスル場合ニ、其ノ株式會社ニ現存スル純財產額以上ノ額ヲ以テ、今度出來マスル有限公司ノ資本ノ總額トシテハイケナイト云フコトニ致シタノデアリマス、是ハ組織變更ノ結果生ジマスル有限公司ノ基礎ノ確實ヲ圖ツクモノニ外ナラナイノデアリマス、サウシテ若シ此ノ規定ニ反シマシテ、ヨリ高キ金額ヲ以テ資本ノ總額ト爲シマスルナラバ、第六十五條ニ依リマシテ不足金支拂ノ義務ガ生ズルノデアリマス、其ノコトハ次條ニ付テ申述ベタイト存ズルノデア

リマス、ソレカラ第三項デアリマスルガ、是ハ矢張リ前ニ申述は定款變更、其ノ他組織變更ニ必要ナル事項ヲ、此ノ總株主ノ一致ニ依ル總會ノ決議デ矢張リ決メナケレバナラナイト云フ手續ヲ存シタニ止マルノデアリマス、ソレカラ末項ハ質權ガ持分ニ乘移ルト云フ規定デアリマシテ、先程申述ベマシタ第六十一條ヲ此處ニ準用シタ次第デアリマス、第六十五條ハ前條即チ第六十四條ノ第二項カラ生ズル規定デアリマシテ、株式會社ニ現存スル純財產額ト、有限會社ノ資本ノ總額ト之ヲ比ベマシテ、此ノ株式會社ニ現存シテ居タ純財產額ノ方ガ不足デアルト云フ場合ニハ、其ノ決議當時ノ取締役、監查役、株主、是ガ會社ニ對シテ連帶シテ其ノ不足額ヲ支拂ハナケレバナラナイト云フコトヲ明カニ致シマシタ、非常ニ重大ナル義務ヲ課シタノデアリマシテ、此ノ義務ハ矢張リ五年經タナケレバ之ヲ免除スルコトヲ許サナイノデアリマス、是ハ第二項ニ依リマシテ第十條ヲ準用致シマシタ結果デアリマス、第六十六條ハ株式會社ガ組織ヲ變更シテ有限會社ニナリマシタ場合ノ登記手續デアリマス、是ハ本來株式會社ニ關スル事項デアリマスルカラ、株式會社ニ關スル規定ノ方ニ網羅スルコトガ或ハ適當デアルカモ知レマ

セヌケレドモ、商法中改正法律案ニ於キマシテハ有限會社ト云フモノニ觸レテ居ナイノデアリマスルカラ、勢ヒ斯様ナ組織變更ヲ認メマスルナラバ、有限會社法案ノ方ニ續ヲ存シタニ止マルノデアリマス、ソレカラ末項ハ質權ガ持分ニ乘移ルト云フ規定デアリマシテ、先程申述ベマシタ第六十一條ヲ認シタ株式會社ガ有限會社ニナックテアリマス、次ニ第六十七條デアリマシテ、是ハ先程申シマシタ株式會社トナル場合ノ社ニナルト云フ、其ノ反對ニ有限會社ガ組織ヲ變更致シマシテ株式會社トナル場合ノ規定デアリマス、第一項ニ依リマシテ左様ナコトガ出來ルト云フコトガアッテハイケマスルト共ニ、是亦極メテ重大ナ事項デアリマスルカラ、總社員ノ一致ニ依ル總會ノ決議ヲ必要トスルト云フコトヲ明カニ致シマスルカラ、總社員ノ一致ニ依ル總會ノ決議ヲ置イタノデアリマシタ、ソレカラ第二項デアリマスガ、是ハ丁度第六十四條第二項ト同趣旨デアリマシタ、ソレカラ第三項デアリマスガ、是ハ三項ハ定款ノ他組織變更ニ必要ナル事項合、有限會社ニ現存スル純財產額ヨリモ多イ金額ヲ、株式會社ノ拂込ミタル株金額トシテハイケナイ、斯ウ云フコトニシタノデアリマス、是ハ第二項ニ依リマシテ第十條ヲ準用致シマシタ結果デアリマス、第六十六條ハ登記ノ規定デアリマス、商法中改正法律案ノ第二百九條第三項ハ、登錄質權ニ關スル規定デアリマシテ、是等ハ總體會社ノ基礎ノ確實ヲ期シタ次第デアリマス、若シ此ノ規定ニ反シマスルナラバ、矢張リ不足額支拂ノ義務ガ生ズルノデアリマシテ、ソレハ先程申述ベマシタ第六十五條ヲ此ノ規定ノ末項デ準用シテ居リマス、ソレカラ

第三項デアリマスルガ、是ハ矢張リ前ニ申述ベマシタ第六十條ノ第二項ト全ク同一ノ趣旨デアリマシテ、株式會社ニナリマスルノテ、是ハ裁判所ノ認可ヲ受ケナケレバナラナイト云フコトヲ明カニシタノデアリマス、次ニ第六十七條デアリマシテ、是ハ先程申シマシタ株式會社ニ對スル規定ヨリモ嚴重デアリマスルカラ、其ノ株式會社ニ對スル規定ガ、有限會社ニ對スル規定ヨリモ嚴重デアリマスルカラ、其ノ手續ヲ惡用スルト云フコトガアッテハイケマス、是ハ先程申シマシタ株式會社トナル場合ノ規定デアリマス、第一項ニ依リマシテ左様ナコトガ出來ルト云フコトヲ明カニ致シマスルカラ、總社員ノ一致ニ依ル總會ノ決議ヲ必要トスルト云フコトヲ明カニ致シマスルカラ、是亦極メテ重大ナ事項デアリマスルカラ、總社員ノ一致ニ依ル總會ノ決議ヲ置イタノデアリマス、此ノ第六十一條第一項ト云フノハ、既ニ申述ベマシタ質權ニ關スル規定デアリマスルガ、此ノ第六十一條ヲ準用シテ居リマスルガ、是ハ先程申述ベマシタ第三項ハ定款ノ他組織變更ニ必要ナル事項合、有限會社ニ現存スル純財產額ヨリモ多イ金額ヲ、株式會社ノ拂込ミタル株金額トシテハイケナイ、斯ウ云フコトニシタノデアリマス、是ハ第二項ニ依リマシテ第十條ヲ準用致シマシタ結果デアリマス、第六十六條ハ登記ノ規定デアリマス、商法中改正法律案ノ第二百九條第三項ハ、登錄質權ニ關スル規定デアリマスガ、是等ハ總體會社ノ基礎ノ確實ヲ期シタ次第デアリマス、若シ此ノ規定ニ反シマスルナラバ、矢張リ不足額支拂ノ義務ガ生ズルノデアリマシテ、ソレハ先程申述ベマシタ第六十五條ヲ此ノ規定ノ末項デ準用シテ居リマス、ソレカラ

第三項デアリマスルガ、是ハ矢張リ前ニ申述ベマシタ第六十條ノ第二項ト全ク同一ノ趣旨デアリマシテ、株式會社ニナリマスルノテ、是ハ裁判所ノ認可ヲ受ケナケレバナラナイト云フコトヲ明カニシタノデアリマス、次ニ第六十七條デアリマシテ、是ハ先程申シマシタ株式會社ニ對スル規定ヨリモ嚴重デアリマスルカラ、其ノ株式會社ニ對スル規定ガ、有限會社ニ對スル規定ヨリモ嚴重デアリマスルカラ、其ノ手續ヲ惡用スルト云フコトガアッテハイケマス、是ハ先程申シマシタ株式會社トナル場合ノ規定デアリマス、第一項ニ依リマシテ左様ナコトガ出來ルト云フコトヲ明カニ致シマスルカラ、是亦極メテ重大ナ事項デアリマスルカラ、總社員ノ一致ニ依ル總會ノ決議ヲ必要トスルト云フコトヲ明カニ致シマスルカラ、是亦極メテ重大ナ事項デアリマスルカラ、總社員ノ一致ニ依ル總會ノ決議ヲ置イタノデアリマス、此ノ第六十一條第一項ト云フノハ、既ニ申述ベマシタ質權ニ關スル規定デアリマスルガ、此ノ第六十一條ヲ準用シテ居リマスルガ、是ハ先程申述ベマシタ第三項ハ定款ノ他組織變更ニ必要ナル事項合、有限會社ニ現存スル純財產額ヨリモ多イ金額ヲ、株式會社ノ拂込ミタル株金額トシテハイケナイ、斯ウ云フコトニシタノデアリマス、是ハ第二項ニ依リマシテ第十條ヲ準用致シマシタ結果デアリマス、第六十六條ハ登記ノ規定デアリマス、商法中改正法律案ノ第二百九條第三項ハ、登錄質權ニ關スル規定デアリマスガ、是等ハ總體會社ノ基礎ノ確實ヲ期シタ次第デアリマス、若シ此ノ規定ニ反シマスルナラバ、矢張リ不足額支拂ノ義務ガ生ズルノデアリマシテ、ソレハ先程申述ベマシタ第六十五條ヲ此ノ規定ノ末項デ準用シテ居リマス、ソレカラ

第三項デアリマスルガ、是ハ矢張リ前ニ申述ベマシタ第六十條ノ第二項ト全ク同一ノ趣旨デアリマシテ、株式會社ニナリマスルノテ、是ハ裁判所ノ認可ヲ受ケナケレバナラナイト云フコトヲ明カニシタノデアリマス、次ニ第六十七條デアリマシテ、是ハ先程申シマシタ株式會社ニ對スル規定ヨリモ嚴重デアリマスルカラ、其ノ株式會社ニ對スル規定ガ、有限會社ニ對スル規定ヨリモ嚴重デアリマスルカラ、其ノ手續ヲ惡用スルト云フコトガアッテハイケマス、是ハ先程申シマシタ株式會社トナル場合ノ規定デアリマス、第一項ニ依リマシテ左様ナコトガ出來ルト云フコトヲ明カニ致シマスルカラ、是亦極メテ重大ナ事項デアリマスルカラ、總社員ノ一致ニ依ル總會ノ決議ヲ必要トスルト云フコトヲ明カニ致シマスルカラ、是亦極メテ重大ナ事項デアリマスルカラ、總社員ノ一致ニ依ル總會ノ決議ヲ置イタノデアリマス、此ノ第六十一條第一項ト云フノハ、既ニ申述ベマシタ質權ニ關スル規定デアリマスルガ、此ノ第六十一條ヲ準用シテ居リマスルガ、是ハ先程申述ベマシタ第三項ハ定款ノ他組織變更ニ必要ナル事項合、有限會社ニ現存スル純財產額ヨリモ多イ金額ヲ、株式會社ノ拂込ミタル株金額トシテハイケナイ、斯ウ云フコトニシタノデアリマス、是ハ第二項ニ依リマシテ第十條ヲ準用致シマシタ結果デアリマス、第六十六條ハ登記ノ規定デアリマス、商法中改正法律案ノ第二百九條第三項ハ、登錄質權ニ關スル規定デアリマスガ、是等ハ總體會社ノ基礎ノ確實ヲ期シタ次第デアリマス、若シ此ノ規定ニ反シマスルナラバ、矢張リ不足額支拂ノ義務ガ生ズルノデアリマシテ、ソレハ先程申述ベマシタ第六十五條ヲ此ノ規定ノ末項デ準用シテ居リマス、ソレカラ

第三項デアリマスルガ、是ハ矢張リ前ニ申述ベマシタ第六十條ノ第二項ト全ク同一ノ趣旨デアリマシテ、株式會社ニナリマスルノテ、是ハ裁判所ノ認可ヲ受ケナケレバナラナイト云フコトヲ明カニシタノデアリマス、次ニ第六十七條デアリマシテ、是ハ先程申シマシタ株式會社ニ對スル規定ヨリモ嚴重デアリマスルカラ、其ノ株式會社ニ對スル規定ガ、有限會社ニ對スル規定ヨリモ嚴重デアリマスルカラ、其ノ手續ヲ惡用スルト云フコトガアッテハイケマス、是ハ先程申シマシタ株式會社トナル場合ノ規定デアリマス、第一項ニ依リマシテ左様ナコトガ出來ルト云フコトヲ明カニ致シマスルカラ、是亦極メテ重大ナ事項デアリマスルカラ、總社員ノ一致ニ依ル總會ノ決議ヲ必要トスルト云フコトヲ明カニ致シマスルカラ、是亦極メテ重大ナ事項デアリマスルカラ、總社員ノ一致ニ依ル總會ノ決議ヲ置イタノデアリマス、此ノ第六十一條第一項ト云フノハ、既ニ申述ベマシタ質權ニ關スル規定デアリマスルガ、此ノ第六十一條ヲ準用シテ居リマスルガ、是ハ先程申述ベマシタ第三項ハ定款ノ他組織變更ニ必要ナル事項合、有限會社ニ現存スル純財產額ヨリモ多イ金額ヲ、株式會社ノ拂込ミタル株金額トシテハイケナイ、斯ウ云フコトニシタノデアリマス、是ハ第二項ニ依リマシテ第十條ヲ準用致シマシタ結果デアリマス、第六十六條ハ登記ノ規定デアリマス、商法中改正法律案ノ第二百九條第三項ハ、登錄質權ニ關スル規定デアリマスガ、是等ハ總體會社ノ基礎ノ確實ヲ期シタ次第デアリマス、若シ此ノ規定ニ反シマスルナラバ、矢張リ不足額支拂ノ義務ガ生ズルノデアリマシテ、ソレハ先程申述ベマシタ第六十五條ヲ此ノ規定ノ末項デ準用シテ居リマス、ソレカラ

○政府委員(大森洪太君) 會社ニ義務ハナ

イト云フ趣旨デ規定ヲ致シタノデアリマス、
矢張リ質權者ノ申出デ、ソレデ此ノ手續ヲ

スル、是ガ當リ前ノ動キ方ヂヤナイカト存
ジタノデアリマス

○委員長(山岡萬之助君) 他ニ御發言モゴ
ザイマセヌケレバ、本日ハ……チヨット速記

ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(山岡萬之助君) 速記ヲ始メテ、

本日ハ是ニテ散會致シマス、明後日ハ午前
十時カラ開キマス

午後零時八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 山岡萬之助君
委員

子爵舟橋 清賢君

中川 健藏君

男爵奥田 剛郎君

山隈 康君

岩田 宙造君

大西虎之介君

政府委員

司法省民事局長 大森 洪太君

貴族院商法中改正法律案特別委員小委員會議事速記錄第一號正誤
ノ誤ニ付訂正ス

昭和十三年二月五日印刷

昭和十三年一月六日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局